

自然、人、鉄。奥出雲の歴史は「たたら」の歴史とともにある。

奥出雲とたたらの魅力^{を伝える}

2025新春

奥出雲たたら展

OKUIZUMO TATARA EXHIBITION



2025.1/11(土) - 2/24(月・祝)

定休日：毎週火曜日

奥出雲たたらと刀剣館 10:00-17:00

島根県仁多郡奥出雲町横田1380-1 ☎0854-52-2770

奥出雲町



【島根県奥出雲町】

ヤマタノオロチ退治神話の舞台となった山々や、美肌効果のある温泉があり、自然に恵まれた世界で唯一たたら^の炎が燃える町です。

主催：奥出雲町／奥出雲たたらブランド推進会議

共催：鉄の道文化圏推進協議会

2025新春 奥出雲たたら展

OKUIZUMO TATARA EXHIBITION 2025 NEW YEAR

燃え続ける炎が 想いをカタチにする

2025.1/11(土) - 2/24(月・祝)

定休日：毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日）

奥出雲たたらと刀剣館

島根県仁多郡奥出雲町横田1380-1

入館料：大人530円／小中学生260円 団体料金：大人410円／小中学生210円

※当チラシを持参されると団体料金で入場いただけます。（4名様まで）

たたら製鉄とは

古来より続く「鉄」をつくる技術「たたら製鉄」森から得られた砂鉄、木炭、粘土、そして風という自然の素材だけを扱い、優れた輝を産み出します。原料の砂鉄は鉄穴流し（かんなながし）と呼ばれる技法により、山々を切り崩して採取します。世界的に鉱山は荒廃したまま放置されますが、鉄穴流し跡は、水田として再利用し、豊潤な大地として再生され、今も人々の暮らしを支えています。自然という相手を理解し、守りながら、つくり続ける仕組みは日本における「自然と生きる」ものづくりの原点です。

たたらと奥出雲をテーマにした作品展

H28年度から「たたら」と「奥出雲」をテーマに、刀匠・若手アーティスト・デザイナーが、現地ワークショップをしながら、「たたら製鉄」から生み出された「玉鋼」や「鉄滓」を素材に、今までにない作品、また、玉鋼の新たな可能性に挑戦する作品を制作しました。

平成30年度には、地域ブランドとして「奥出雲たたらブランド」を立上げ、認証制度を創設し、全国の刀匠の技がつくり出した玉鋼製品を「奥出雲たたらブランド」として認証し、展示しています。また、併せて、「たたら」からもたらされた「たたらの恵み」奥出雲町の産品も展示しています。

目指せ!! 世界農業遺産「たたら製鉄が生んだ資源循環型農業」



奥出雲町は、出雲神話発祥の地で、神話ゆかりの場所も数多く残っており、古くから「たたら製鉄」で栄え、製鉄に使われる砂鉄を採取するために行われた「かんな流し」で形成された特徴的な景観を有しています。

奥出雲町の美味しい特産品を育む農林畜産業は、たたら製鉄と深い関係があり、砂鉄を採るため山々を切り崩し、その跡地を棚田に再生して「仁多米」が生まれました。また、鉄の運搬や農耕などを担った和牛は改良技術を受け継ぎ、「奥出雲和牛」となりました。木炭をつくるために約30年周期で管理されてきた森林は「しいたけ」の原木供給林として利用され、森林を伐採した跡には在来種の「そば」栽培も続けられてきました。

たたら製鉄が生み出したものは鉄だけでなく、奥出雲の大地を造り、多くの恵みを今もなおもたらしています。

奥出雲たたらブランドとは

「奥出雲たたらブランド」は、「自然」、「人」、「鉄」が織りなす物語に裏付けされた「もの」で、その「もの」をとおして「たたら製鉄」の今日的価値と「奥出雲町」という空間、そこで営まれている暮らしの価値を世界に向けて継続的・持続的に発信していきます。

そして、「奥出雲たたらブランド」の認証作品・製品を世界に発信し、日本のモノづくりの心・原点である「たたら」と「神話とたたらの里 奥出雲町」をPRしていきます。

「奥出雲たたらブランド」は、たたら製鉄の技術や日本刀の中に見ることのできる技と美を象徴する証であり、奥出雲町のものづくりに関する様々な“思い”を形にして世界に発信していくための証です。



TATARA
IRON-MAKING
OKUIZUMO